

## 2025年度 学校関係者評価委員会

開催日時：2025年9月30日（火） 16：30～17：30

場所：宮城文化服装専門学校 3F 教室

委員：早坂 謙一郎 氏（東北共済商事株式会社）  
小野 義紀 氏（オズファインクロス）

参加者：飯岡 昌司 （宮城文化服装専門学校 事務長）  
増子 佳世 （宮城文化服装専門学校 教務部長）  
赤間 なぎさ（宮城文化服装専門学校 職員）  
内海 真一 （宮城文化服装専門学校 職員）  
伊藤 香菜子（宮城文化服装専門学校 職員）

1. 自己評価委員会にて評価報告書を作成。
2. 学校関係者評価委員において自己評価の内容を検証し、評価報告の答申を頂く。
3. 2の内容をまとめたものをホームページに掲載することにより公開。

主な質問・意見と対応

教育活動

### 【意見】

- ・教員の不足。学生数の不足により、教員の確保ができていない。
- ・非常勤講師の高齢化が深刻。
- ・現在の常勤講師で対応可能な範囲にカリキュラムを集約し、守備範囲を絞って質を向上させる方向性かどうか。

**【対応】**

- ・来年度は学生数も増える予定なので外部講師等も活用し教員確保に努める。
- ・非常勤講師の後任確保に向けた検討をしていく。

学生支援

**【意見】**

- ・保健室の設置について

**【対応】**

- ・教室数が少ないため保健室は設置しない。体調不良者については基本的に早退で対応し、ケガについては救急セットの常備あり。

教育環境

**【意見】**

学生数に対して教室内作業スペースの不足。

**【対応】**

廊下に机を出して作業スペースを確保することで対応中。

社会貢献・地域貢献

**【意見】**

- ・学生のボランティア活動が減っている。
- ・公開講座、教育訓練の実施について。関東以南、関西方面など遠方で費用負担が大きい。日程も平日使用して1週間程度かかってしまい、授業の兼ね合いにより難しくなっている。

**【対応】**

- ・コロナ以降、募集自体が激減してしまった。
- ・ファッション分野の募集については学生に案内している

その他

**【意見】**

- ・ 全体的に学校側の自己評価に比べ、学生の評価が高い。教職員が良い対応をしていると言える。
- ・ 2024年度の内定率が良好。ただ、企業側も新卒の早期離職に悩んでいる状況。企業側の募集職種に対して学生の希望職種のミスマッチも見受けられる印象。